

たかのす

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

8月31日現在		(前月比)
総人口	25,383人	(19人増)
男	12,358人	(4人増)
女	13,025人	(15人増)
世帯数	7,054世帯	(3世帯増)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



No.394

53・10・15

国民年金専任集金員として励む
河田茂八さん(あけぼの町・79歳)。
茂八さん、定年の五十五歳まで
製材所で働き、五十六歳から十年
間総合庁舎の用務員、六十六歳か
ら国民年金の専任集金員として励
むかたわら、新聞購読料の集金も
行い、一カ月一千二百以上の件数
を取扱っている。
健康で、まだ眼鏡の世話になっ
たことがないという茂八さん。毎
日元気で働けることに、感謝の気
持でいっぱいです——と、今日も
愛用の自転車で、集金に回って
います。



次は あなたです

9 月 定 例 町 議 会

冬将軍に備え除雪費を補正

墓地公園に関する条例を制定

五十三年九月定例町議会は、九月十八日から二十八日まで
の十一日間の会期で開かれ、一般会計・特別会計の補正、条
例の制定及び改正、請願などを審議して閉会しましたので、
決定した内容等についてお知らせします。

一般会計 三十五億六千万円台に

前野団地に集会所を新築

一般会計は、歳入歳出予算の総額に、二億三千五百二十万五千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額は三十五億六千五百十九万五千円となりました。
各款の補正した主なものは次のとおりです。

〔歳入〕
▽総務費 八百四十万四千円の追加。

主なものは、庁用備品など一般管理費三百九十五万二千円、交通安全対策三十一万七千円、広域圏組合負担金二百三十七万七千円、徴税費百二十五万七千円、統計調査に四十四万七千円。

老人居室費 千二百八十一万円の追加。
主なものは、

青山荘施設整備補助百万円、南鷹巣保育園施設整備補助金一千九十二万円、同貸付金一千万円、老人居室整備資金貸付金三百万円、三歳未満児保母助手設置補助四百三十二万円、保母及び事務職員設置補助百十九万三千円、前野団地児童館建設費一千五百三十三万五千円。

衛生費 二百五十六万円の追加。
健康生活推進事業二十一万六千円、二本杉へき地診療室増築補助三十万、今泉・前山地区簡易水道新設準備事業費二百万円
▽労働費 一千六百六十二万二千円の追加で、小島ベレコール従業員賃金確保支払貸付金です。

〔歳入〕
水田再編転作や集落農場対策等

農業水産 業費は、六千九百二十万四千円
主なものは、土地改良区合併推進補助二十万、基幹集落センター環境整備工事五十九万、同備品百一十一万六千円、水田再編対策補助一千九百五十二万七千円、山村地域農林漁業特別事業補助三千七百二十万九千円、農業生産組織総合整備対策事業補助九十六万六千円、集落農場化対策補助百二十八万五千円、田園畜舎設置事業補助三十万、黒森沢放牧道路整備補助三十万、摩当地区農道整備工事五百三十三万五千円
▽商工費 六十七万四千円の追加で、全額湯の谷温泉の備品など。

除雪関係に 千六百十三万四千円の追加。
主なものは、

除雪ドーザ購入一千五百九万円、除雪機械借上料一千五百万円、道路維持資金二百七十五万円、排水維持工事二百五十万円、道路維持工事百五十万円、道路補修用資材五百万円、道路改良一千五十万円、舗装新設一千万円、道路工事立木補償二百万円。
▽消防費 二百五十六万八千円の追加で、主なものは、二百二十万円の消防本部無線広報車の購入。

学校整備工事費などを補正 一千九百十九万三千円の追加。

主なものは、学校整備工事六十萬円、大会出場費補助百三十八万六千円、産業教育備品九十万円、北幼稚園隣接敷地買収百三十万、中畑・湯の谷テレビ共同アンテナ新設工事二百八十三万円、学校給食原材料五百四十六万六千円。
▽災害復旧費 一千六百四十四万五千円の追加。
内容は、農業施設六百十三万九千円、農地四百一十一万五千円、公共土木施設六百十九万四千円、いづれも昭和五十三年災害復旧工事費です。

〔歳入〕
歳入の追加財源は、次のとおりです。

▽町税三千四百五十五万五千円
▽地方交付税六千五百九十一万一千円
▽分担金及び負担金六百八十八万八千円

町 長 日 誌

9月16日～9月30日

16日 町長と語る会 横瀬

17日 栄地区敬老会

18日 町議会定例会

19日 鷹巣地区敬老会

20日 町議会定例会(一般質問)

21日 秋の交通安全合同査閲

22日 町議会常任委員会

23日 五城目町との交換スポー

25日 ツ大会 五城目町

25日 町長と語る会 前野団地

25日 町議会各常任委員会

26日 黒森沢放牧地現地検討会

27日 赤い羽根共同募金打ち合わせ会

28日 町議会定例会(最終日)

29日 秋田県理科教育研究会鷹巣大会

30日 北秋田地区県職員運動会

議 会 日 誌

9月16日～9月30日

18日 議会運営委員会、町議会定例会

20日 町議会定例会(一般質問)

21日 教育民生常任委員会

22日 総務・教育民生・産業経済・建設水道常任委員会

25日 総務・産業経済・建設水道常任委員会

26日 総務・建設水道常任委員会

27日 総務常任委員会

28日 町議会定例会(最終日)

▽国庫支出金四千三百十五万六千円
▽県支出金四千四百五十九万九千円
▽寄付金百八十四万四千円
▽繰入金七百万円
▽繰越金百三十三万四千円
▽諸収入一千六百六十六万六千円
▽町債一千七百九十万円
以上が、一般会計九月補正の概要です。

決定した特別会計

▽綴子簡易水道会計補正予算

二百三十一万五千円を追加、繰入歳出それぞれ一千八百三十七万八千円に。

繰入は、水道使用料二百九万四千円と繰越金二十二万二千円。

歳出は、総務費十五万五千円と取水施設補修工事百六十万五千円、原材料四十五万五千円、給水タンク十一万五千円。

▽坊沢簡易水道会計補正予算

百二十四万五千円を減額し、繰入歳出それぞれ一億二千九百四十四万三千円。

繰入は、坊沢財産区からの繰入金三百六十三万九千円を追加、町債三百十萬円と国庫補助金百七十八万四千円を減額。歳出では、現場監督補助費百八十一万八千円、水道工事建設費百七十一万二千円、一時借入金利子四十二万八千円などを減額、給水管理設工事百九十五万五千円、遠隔式メーター器三十二万五千円を追加しております。

▽栄財産区会計補正予算

三千三百七十五万五千円を追加、繰入歳出それぞれ四千九百七十七万三千円。

▽坊沢財産区会計補正予算

三百五十二万六千円を追加し、繰入歳出それぞれ一千四百八十五万五千円。

繰入は、土地売却二百六十六万、前年度繰越金八十五万九千円。歳出は、下刈費八十七万八千円を減額、坊沢簡易水道会計への繰入金三百六十三万九千円を追加。

▽七日市財産区会計補正予算

三百二十七万二千円を追加、繰入歳出それぞれ二千九百六十八万六千円。

繰入は、官公造林立木売却分収金二百九十二万二千円、前年度繰越金三十五万二千円。歳出は、地元部落分収交付金二百七十八万、基幹集落センター施設費繰入金百二十万を追加、建物修繕料五十四万を減額。

▽水道事業会計補正予算

収益的収入及び支出の予算は、収益的収入百五十六万六千円、同支出百九十九万七千円を追加、総額で収益的収入一億七百四十二万八千円、同支出七千六百九十三万。

追加財源の収入は、収益的収入は水道事業収益百五十六万六千円の追加で、内容は営業収益百三十万八千円と営業外収益五十五万円追加。収益的支出は、水道事業費百

十九万七千円の追加で、内容は営業費用百三十八万八千円を追加し、特別損失十一万一千円を減額しております。

▽綴子財産区会計補正

五十万を追加、繰入歳出それぞれ一千二百二十三万に。

繰入は、全額繰越金。歳出も全額、前野団地会館建設工事へ

五十二年 上水道事業を認定

三千万円台の純益で決算

五十二年度上水道事業決算は、六月定例町議会に上提され、建設水道常任委員会に付託審議されていましたが、認定となりましたので報告します。

決算の概要は、給水件数二千二百九十九件、給水量六十万四千五百三十一立方。

経理は、水道事業収益予算額一億五百三十七万七千円に対し、決算額が一億四百一十一万八千九百二十四円、九十一万八千七百六十六円の減収。事業費予算額七千五百八十八万八千円に対し、決算額が七千三百八十八万七千三百九十九円で二百九十九万六千一百円の減額となり、当年度純利益三千九百三十三万八千八百八十五円をあげることができ、累積欠損金は四千五百五十六万八千二百六十五円と減少しました。

また、資本的収支については収入予算額九百三十二万三千円に対し、決算額も同額で増減なく、支出予算額九百三十二万三千円に対し決算額は九百三十二万七千七百五十

の繰入金。

▽宅地開発事業会計補正

五百三十万を追加、繰入歳出それぞれ一千九百九十九万六千円に。

繰入は、全額繰越金。歳出も全額、前野団地会館建設工事への繰入金。

一円で、二千二百四十九円の不用額となっています。

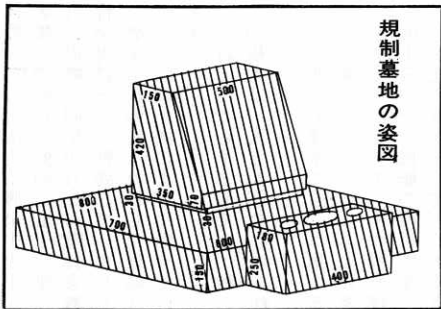
管理手数料

一区画・年五百円

▽墓園条例の制定について

昨年から工事中の墓園が、使用開始の段階に入ったので、これらの運営管理について必要な事

規制墓地の姿図



項を条例と規則で定めたものである。

条例は十六条からなり、墓地の区画や種類、使用の制限、承継、使用料、管理手数料、行為の禁止などが定められています。

使用料は、規制墓地で本年度一区画八万円が、本年度は八万五千円、五十七年度には十万円と一年に五万円のアップ。

また自由墓地は、一区画十万円が、来年度は十万六千円と年六千円のアップ。墓地管理手数料は、一区画当り年五百円となっています。

綴子小岩谷分校

今年度末で廃止

▽町立学校条例の一部改正

綴子小学校岩谷分校を昭和五十四年三月三十一日で廃止、綴子小学校に吸収統合することになりました。

なお、綴子小学校岩谷分校には、現在七名の児童が在学しておりますが、新年度からの移行がスムーズに行くよう、四月から週一回(木曜日)本校に登校、なじませております。

▽公民館条例の一部改正

七日市公民館を七日市基幹集落センターに移転

▽字界の変更について

今泉地区の土地改良事業施行による境界変更のため、鷹巣阿仁広域市町村圏組合の規約の一部改正
大野台工業団地工業導入に関

する内容。

▽町営住宅設置条例の一部改正
五十三年度に二十八戸建設したにより、町営住宅の戸数に異動が生じたもので、二百八十三戸を三百一十一戸に改める。

▽町営住宅管理条例の一部改正
五十三年度に建設した住宅の使用料を、一カ月一万五千五百円に決定。

五十二年決算は継続審議に

一般会計 一億二千万円余の黒字

▽五十二年各種会計歳入歳出決算の認定について

五十二年一般会計、国保、各財産区、宅地開発など十三会計の決算認定は、例年のとおり決算特別委員会を構成、審査することになりました。

なお、上提された十三会計はいずれも黒字で決算。十三会計の収入合計は四十八億二千九百九十一万三千円。支出合計四十四億八千七百三十四万円で、差引三億三千四百五十七万三千円の黒字となっています。

内、一般会計は、収入済額三十四億七千三百七十六万六千円、支出合計三十二億五千二百六十二万五千円で、差引二億一千七百七十五万一千円の黒字決算となりました。

採択となった請願

▽湯の倍湯治場受託運営に関する請願（請願者＝鷹巣町身体障害者協会）

▽五十三年度保育所改築工事の補助金交付の陳情書（社会福祉法人県北報公会）

▽健康保険法の改正に反対する陳情書（秋田県民主医療機関連合会）

▽農道を町道に編入する陳情について（太平町町内会）

▽町道（綴子下町部落地内）編入についての陳情書（綴子下町部落自治会）

鷹巣公民館長に

長崎久氏が就任



町教育委員会は十月一日付けで、任期満了の長崎佐太吉鷹巣公民館長の後任に、社会教育指導員長崎久氏（60）を任命しました。

長崎久氏は、昭和十一年旧朝鮮平壤師範卒、二十一年まで朝鮮で教員。終戦で郷里の大野尻に引き揚げ、坊沢中学校分校 鷹巣小学

校教諭。合川南小、鷹巣中央小、鷹巣小の校長を勤め、五十二年三月に退職。同年四月から町社会教育指導員として勤務していました。鷹巣公民館長に就任した長崎久氏は、抱負を次のように語っています。

「おとんでも子どもでも、教の根本は、人と人との心のふれ合いです。

学校でも講座でも、「集まるのが楽しい。」というふんいきをつくることです。その場を提供するのが公民館の役目です。変化の度が早くて、心のゆとりを失いそうな世の中で、自分をさけ出して語り合える仲間を失わないように、その手助けをしていきたい。」

長崎公民館長退任

社会教育に多大の業績



鷹巣公民館長長崎佐太吉氏(69)は、任期満了となった九月三十日をもって退任されました。

長崎氏は、米内沢小、有浦小、鷹小、鷹中の校長を歴任。この間、北教育事務所副所長、県保健体育課長補佐を務め、四十三年退職。その後、森吉町教育長、四十五年に町公民館長に就任、生涯教育の推進など社会教育に幅広い活動を展開、五十一年に県教育功労章、五十二年には文部省から体育功労章を受章しております。

長崎氏の社会教育行政における多大の業績に対し、深く感謝申し上げます。

県立学校給食コンクール

河田・佐藤組が優勝



県教育委員会主催の五十三年度学校給食調理コンクールは、九月三十日秋田市の秋田短大で開かれましたが、これに、北秋から書類審査をパスして参加した北郡給食センターの河田嬌子さん、佐藤隆子さんが、「変りごはん」の部門で見事一位となりました。

同コンクールは、「米と牛乳を除いた材料費が一人百三十円以内で、栄養基準を満たしているもの」という内容で、五人分の食事を盛りつけ、あとかたづけまで四十五分以内という実技ルール。

河田・佐藤組は、次の献立で一位になったものです。

▽わかめのまぜごはん
▽かきたまみそ汁
▽フルーツサラダ
▽漬物の四品目。



資源回収・好成绩

紙類など3.5ト

＝ごみ収集日と感違いする人も＝

町内の廃品回収業者の全面的な協力を得て、九月十七日から三日間、資源回収を行いました。回収された資源は紙類三千五十ト、衣類四百ト、鉄屑一千九百ト、ビン類七百三十本と、好成绩であったことを報告するとともに感謝申しあげます。

なお、第一回目の資源回収を終り、次の点が反省点としてござれておりますので、今後の回収に参考にされ、住民のみなさんご協力をお願いいたします。(十月の資源回収は、第三日曜日の十五日から十七日まで回収地域は九月十五日付け広報、三頁に掲載しております)。

(反省点)

▽ごみ収集日と感違いをし、ごみを出す人がみられた。

▽収集品目でない油ビン、化粧品ビン、ドリンクビンを出した人もいた。

▽まだ使える衣類、自転車、冷蔵庫等も出されていた。

▽資源回収日に出さないで、翌日の不燃物収集日に出している人も多くみられた。

(よかった点)

▽新聞を四ツ折にして十字にしばり、雑誌も大きさにより十字にしばって出していた。

▽空ビンを共同で箱に入れるとか袋に入れて出していた。

▽ボロは、ほとんどの人が箱が大きな布きれに包んで出していた。

以上が、第一回目の収集を終って気づいた点です。今月も反省点を留意のうえ、ご協力をお願いします。

体育協会が大臣表彰

117日・基金達成も兼ね祝賀会

町体育協会(長崎佐太吉会長)は、本年度の社会体育優良団体として十月六日、東京麹町の東条会館で文部大臣表彰を受けました。

町体育協会には、十六団体が加入、町民のスポーツの普及振興と選手育成に努力するとともに、財政的な確立をめざして一千万円の基金造成を達成、このほど財団法人として正式に認可されるなど、組織の活発な活動が高く評価され、文部大臣表彰を受けたものです。町体育協会では、文部大臣表彰と基金達成をお祝いし、十月十七日午後五時三十分から鷹巣公民館ホールで祝賀会を開くことになっております。

太田子ども会など
健全育成で表彰

秋田県子ども会結成三十周年記念式典は、十月八日皇太子ご夫妻をお迎えし、県立体育館で行われましたが、席上、当町から二団体一人が表彰を受けました。

知事表彰を受けたのは、太田子ども会(田村憲一代表・会員六十六人)と舟場子ども会(畠山健一代表、七十三人)が優良賞。新松葉町畠山セツさん(59)が子ども会育成功労賞を、それぞれ受賞したもので、活動の内容は次のとおりです。

地価調査価格の公表

秋田県では、国土利用計画法に基づいて、毎年7月1日現在の基準地の標準価格を判定して公表しています。

昭和53年度の当町関係分は、次の通り公表されました。

利用種目	所 在	1㎡当の 価格(円)
住 宅 地	鷹巣字西鷹巣171番	13,700
	鷹巣字東屋敷39.40番	12,500
	栄字中綱90番の2	11,500
商 業 地	鷹巣字北鷹巣225番	78,000
工 業 地	綴子字田中大道下183番の1	7,300
林 地	七日市市舟木沢12番の49	10a当 41,000

なお、同法の規定により都市計画区域5,000㎡、その他の区域10,000㎡以上の土地売買等の契約を締結しようとする場合は、あらかじめ町長を経由して、知事に利用目的と売買予定価格等を届け出るようになっております。

この場合に、標準価格が売買予定価格の適否の判断基準とされ、また一般の土地取引引き価格の指標として活用されることを期待しているものです。

くわしくは、役場企画財政課企画係にお問い合わせください。

町民税の
第三期納期限は

10月31日まで

りです。

▽太田子ども会 部落民の物心両面にわたる支援を得ながら、計画的、継続的に年間事業を実施し、地域に根ざした活動を推進している。

▽舟場子ども会 昭和三十四年結成以来、花壇作りや各種行事を積極的にすすめて、親子の連帯を深める地域ぐるみの健全育成にあたっている。

▽畠山セツさん 昭和三十七年に子ども会育成役員となり、青少年健全育成に取り組み、特に家庭奉仕員、ボランティア会員、婦人会などの役職と子ども会を連結、効率的な地域活動を展開している。

昭和53年10月15日

結婚披露は会費制で

心のこもった祝宴を

連合青年会が模擬で実演

鷹巣町連合青年会(武田響一会長)は十月一日午後四時半から、公民館大ホールに於て、会費五千円の模擬会費制結婚披露宴を実演して見せました。

当日の会費は、料理と飲み物の雑費など二千五百円でやりましたが招待者百三十五人から、「これで十分、立派なものだ」と好評を博しました。

頭の痛い豪華版

結婚は新しい人生の出発、大へんめたいことですが、披露宴の招待状をいただく、まず財布の中を考えなければいけません。虎の子の一万円札が何枚かとんでいくからです。包みはいくらにすればよいか、着てゆくものから、髪のことまで考えると頭が痛くなります。

そして、みかけは豪華だが案外食べるものの少い料理と、引き出物の大きなお荷物を抱えて、「やれやれ、これで終ったか」といういささか疲れた気分が家に帰るの近ごろの風潮です。

料理と飲みもので二千二百円



会費制で合理化運動

このような無駄を省いて、簡素で、合理的で、心のこもった結婚披露宴をと、呼びかけてきたのが、



婦人会、公民館、連合青年会です。

公民館を借りる場合は、会費制で、パンフレットで説明していただきます。が、なかなか普及していかないのが実状で、連合青年会の総会では、「結婚を祝ってもらわねわれがまず、それを実際にやってみよう」ということで、今回の模擬会費制結婚披露宴の開催となったのです。

本番そっくりの

新郎・新婦

模擬披露宴は、本番そのままに

行われました。媒酌人は経験豊富な長崎佐太吉氏ご夫妻・新郎役には藤島一君(綴子)、新婦役には野呂浜子さん(前山)。

出席者は平服のままの青年会員とOB、町関係、公民館連審、分館長、婦人会、地区代表などが、それぞれのテーブルについて新郎新婦を拍手で迎え、新郎新婦が着席すると、近藤次夫氏がステージから、おごそかに「高砂」をうたつて開会となりました。

有言実行を期待する

実行委員会を代表して、武田会長は「簡素で合理的なこの内容を知って欲しい。そして地域に普及して欲しい」と述べました。

媒酌人あいさつで長崎佐太吉氏は、新郎、新婦役を引き上げた二人は家業によく精を出していると同時に、青年会の熱心な活動家であることを具体的な例を出して紹介し、「人生にとって大切なことは物と心の調和である。」と述べ、合理性に根ざしたこの催しの媒酌役になったことが光栄であると結



千五百円〜二千円の記念品

びました。

祝辞では、畠山助役、中島婦人会長、沢田町議会議長、千葉地区協議長がそれぞれ、連合青年会がこの催しを計画した卓見をたたえ、これからは勇気をもって実行してもらいたいと述べ、松尾連青初代会長の音頭で乾杯しました。

豊富な料理と手頃な記念品

五千円会費の内訳は、料理と飲物が二千二百円、オードブル(折詰に代る分)千円、記念品千五百円、雑費三百円となっています。

料理は、町内の仕出し店三店からの協賛を得て盛りつけてもらい、「さしみ」「酢もの」「焼魚」「茶碗むし」「吸物」の五品。飲物は一人当りビール、酒、ジュース各一本。さらに本番になると、オードブルが各テーブルにつくというところで、中味は普通一般にやっているものよりも豊富なものでありました。

記念品は、町内の六店から、千五百円〜二千円程度のものを出示してもらい会場に陳列しました。瀬戸物、せいの製品、民芸品など二十六点出たが、アイディアがあまり手頃なものでありませんでした。

形式よりも中味を真剣に

「祝電披露」「テーブルスピーチ」「花束贈呈」「両親謝辞」「エール三唱」「新郎・新婦お礼のことは」「新婚旅行出発」と、模擬披露宴はにぎやかに型どおりにすすみ、三時間後に終わりました。



喜びのテープカット

＝待望の特急「白鳥」停車＝

待望の特別急行「白鳥」の鷹巣駅停車を記念して、十月二日午前六時十分、鷹巣駅ホームで喜びのテープカットを行いました。

テープカットには、町議会議員、役場職員、一般町民などおよそ百人が出席。刻刻に鷹巣駅に到着した「白鳥」を拍手で迎えました。

「白鳥」が所定の位置に停車したあと、機関士長と車掌長に花束を贈って歓迎。出川町長、熊谷秋鉄局経理部長、桜庭駅長の三人が紅白のテープにハサミを入れると、三十秒停車の「白鳥」は、拍手と歓声に包まれ、鷹巣駅からの初乗り七人などを乗せてホームを発車しました。



「白鳥」の時刻は、上りが鷹巣午前六時十分、秋田着午前七時二十分、終着大阪が午後六時二十五分。
下りは、始発大阪が午前十時十八分、秋田午後九時十九分、鷹巣午後十時二十八分、終着青森が午後十一時五十分となっています。

電力さん

ありがとう

「奉仕や防犯灯を寄贈」

東北電力では、毎年春秋の二回「サービス旬間」を実施、地域への奉仕活動が続けておりますが、このほど行われた秋の旬間に、当町に防犯灯六基が贈られました。防犯灯の寄贈は、昭和四十三年から毎年続けられており、今回で九十一灯になります。

また、同電力ではこの旬間に、陽清学園に三万円の文庫本と、中央公園と児童公園にフラワーボックス二十個を贈ったほか、電気機器の診断と無料修理サービス、一人暮らし老人訪問、移動営業所の開設などを行いました。同電力のこうした奉仕活動は、関係者から感謝されています。

国民年金

納付組織の活用を

「国民年金の保険料」

国民年金の保険料は、銀行や信用金庫などの金融機関にも納められますが、手近かなところで婦人会、納税組合などが集金してくれますので、この納付組織をご活用されると便利です。

くわしいことは、役場町民課年金係へお問い合わせください。

主体性ある文化の創造をめざす

第10回 鷹巣町文化祭

会場 鷹巣公民館・鷹巣町役場・鷹巣小学校

期間 10月27日～29日 町民絵画展（幼児から高齢者まで）
10月28日～29日 文化財めぐり（前日まで申し込み、午前・午後マイクロバス運行）
11月3日～5日 開会式、文化講演会、作品展示、演示、学校教育展等

*広く町民の作品を募集しています。

くわしくは、教育委員会社会教育課（電話 2-1111 内線264）へお問い合わせください。

稲わらを焼くことは

禁止されています



稲わらを焼かないで
地力増強に役立てま
しょう。

鷹巣町

日中友好秋田県農業青年の翼 訪中二週間の報告

①

かいま見た 中国の印象：前

田 中 三 沢 勇 悦



入れないそうですが、私たちは大変運がよく毛沢東の遺体と対面ができました。写真のまま、生けるが如きでありました。

また、明の十三陵万里の長城等を見学し、そのあまりにも大陸的なのに驚きました。

私たちは小畑知事を団長として、総勢百二十一名で九月六日午前九時二十分、成田発北京行日航で出発、日本時間午後二時三十分北京に到着しました。天候に恵まれ快適な空の旅でした。

北京市では、木造建築の最高と言われている故宮を参観し、その広さと美しさ、歴史の深さに驚きました。また、壁新聞で有名な天安門とその広場(五十万人収容)、その向隣にある毛沢東記念堂も参観しました。

記念堂は一週間に三回より中に

また、北京を離れるに従って平地が少なくなり、どこまでも連なる山と丘が見事に開拓され、耕造化されているのは驚きました。

七時間も八時間の間、トウモロコシ畑七十%、アワ畑等三十%ぐ

九月六日から二週間にわたって中国各地を回る「日中友好秋田県農業青年の翼」に、当町から田中・三沢勇悦さん(50)・糠沢・米沢正一さん(40)・堂ヶ岱・小塚京八さん(34)の三人が参加、各分野に大いに見聞を広めてきましたので、それぞれの報告を四回にわたり掲載します。

らしい割合で続き、大寨に行ってもそれが続いておりました。

大寨人民公社の歴史と仕組みを農業館で見学、学習し、現場での足跡を見ました。山を拓き、三十メートルから四十メートルもの谷を埋め、出てきた石で石垣を作り、耕作の便を良くするためには、基盤整備が第一であるといつて一生懸命でした。また、鉄砲水から



鉄砲水防止のため、人力で作った地下トンネル(大寨人民公社)

集落が流されるのを防ぐため、幅四メートル、高さ五メートルの石作りのトンネルを常習地帯の沢に自分たちで作作り、それが三キロも四キロも、時には八キロも続いて、鉄砲水はそのトンネルを流れるようになっております。その上には土盛りをして住宅地とし、三階建のアパートや病院、学校を作り、そのほかは人工平野と呼んで耕地にしておりました。また、至る所に人工の水留を作って干害からの防止に努めておりました。畑は草もなく、トウモロコシも二メートル以上のものが見渡す限りで、成育良好と思われ、我々日本人よりも勤勉さが強いように感じました。

大寨で公社社員と座談会を開き、いろいろな事を話しましたが、結論的に現在最高に幸せであるとのことでした。その理由として、

- ▽住む家ができた
- ▽腹いっぱい食事ができる
- ▽自転車もあるし貯金もできるようになった
- ▽小麦と米を主食とするようになった
- ▽近代化を望み、機械を入れて労働から解放を望む
- ▽民の苦しみはどんなであつたらうかと、想像できるような気がしました。

(以下、十一月一日号に続く)



新刊図書案内

- ▽かいまみた死後の世界.....中山善之
- ▽「甘え」の構造.....土居健郎
- ▽子どもの自殺.....稲村 博
- ▽女性の生きがいとは何か.....田中寿美子
- ▽逆転の生きざま.....藤田公道
- ▽日本古代国家論究.....上田正昭
- ▽ムラは亡ぶ.....村田迪雄
- ▽日本経済と水.....宇井 純
- ▽タテ社会の人間関係.....中根千枝
- ▽夫と妻のための老年学.....水野 肇
- ▽心のかよう村びとの生き方.....鈴木道太
- ▽日本人の脳.....角田忠信
- ▽昆虫を見つめて五十年.....岩田久二雄
- ▽日本の地場産業.....山崎 充
- ▽都市の工業と村落の工業.....板倉勝高
- ▽小作農民の証言.....野添憲治
- ▽阿仁前田小作争議報道記録.....森吉町企画開発課
- ▽米を研ぐ.....稲山純子詩集
- ▽北方農民詩の系譜.....小坂太郎
- ▽女性特派員ノート.....矢島 翠
- ▽深尾須磨子選集随想編、創作編.....深尾須磨子
- ▽竹久夢二全集.....竹久夢二

おしらせ

旧軽免許を所持
されてる方へ!!

旧軽免許で、いまだ限定解除の審査に合格されていない方の、この限定解除の審査が九月二十一日から受けやすくなりました。
くわしいことは、鷹巣警察署におたずねください。

一日の最低賃金額
二千二百三十一円

県内で働くすべての労働者に適用される秋田県最低賃金が改正され、十月十二日以降の最低賃金額は、一日二千二百三十一円以上となり、この額を下回って労働者を使用することはできなくなりました。

告知板

15日～21日

苦情なくして明るい生活

行政相談週間

みなさんの中に、役所や公社などの仕事について
▽説明を受けたが納得できない
▽処理のしかたが間違っている
▽このようにしてほしい
などの苦情や要望をもっているも、直接役所に行きにくいとか、どこへ行けばよいかわからないと

また、一時間あたりの最低賃金は二百七十九円で、この賃金からは、精皆勤、通勤、家族手当が除外されます。

なお、現行の産業別最低賃金が、今回改正された最低賃金より低い場合は、今回の最低賃金が適用されることになっています。

旧軍人等に対する
一時金の支給

旧軍人として、勤務年数が合わせて三年以上ある方で、今まで恩給や共済年金を受けたことのない方、および共済年金を受ける権利のない方に、一万五千円の一時金が支給されます。

該当する方は、すみやかに請求手続きをしてください。
くわしいことについては、役場町民課福祉係（電話二一〇一一一内線二〇六）へお問い合わせください。

中小企業と退職金

中小企業の皆様に、国の退職金制度の活用をおすすめします。

中小企業退職金共済制度は、国の援助で大企業なみの魅力ある退職金が確実に支給できるようにという趣旨で作られ国からの補助金のでている唯一の退職金制度です。本制度には、つぎの特色があります。

▽月々わずかな掛金で将来多額の退職金を確実に支給できます
▽国の制度ですから安全確実です
▽退職金には、国の補助金がつきます
▽従業員のための福利厚生施設を設置する場合の融資が低利で受けられます。

四月から「賃確法」により、社内に退職金制度のある企業は、支払に充てるべき資金のうち一定額を積立てなければならないことになりましたが、本制度に加入して

は、相談活動をより活発に行うほか、次の場所でも巡回相談を開きます。

- ▽十六日〓綴子農協
 - ▽十七日〓西部農協
 - ▽十八日〓沢口農協
 - ▽十九日〓七日市農協
 - ▽二十日〓役場相談室
 - ▽二十一日〓自宅（東住吉町）
- ※時間は、いずれも午前十時から午後一時まで。

相談の内容は、恩給や年金の苦情、道路や河川の問題、登記、税金、貸金や休業補償、豚や鶏の悪

いればその必要はありません。
なお、くわしいことは、北秋田総合庁舎、労政相談員に。

自衛隊で記念行事

陸上自衛隊秋田部隊では、十月二十二日午前十時から秋田駐屯地を会場に、自衛隊二十八周年記念行事を行います。

音楽隊、徒歩部隊、車両部隊のパレードのほか、レンジャー訓練の展示、射撃ドリル、実戦さながらの模擬演習などが予定されています。

第五回 広報写真コンテスト

第五回広報写真コンテストを行いますので、あなたの傑作をふるって応募ください。
課題は、町内での催しや町民の



臭、その他どんな小さなことでも気軽に相談ください。
無料で、迅速にしかも秘密を守り、親身になってお世話します。

生活、自然、風景、人物など幅広く町内の姿をとらえたものです。
応募締め切りは、十一月三十日、届け先は役場総務課広報係。写真の大きさはキャビネ判以上の白黒またはカラー。
応募者全員に粗品を進呈、優秀な作品には賞品を差し上げます。

鷹中・20周年記念誌を希望者に販売

鷹巣中学校では、二十周年を記念して「記念誌」を発行しましたが、この記念誌を一般の希望者にも販売しております。

記念誌は、二百三十二ページで、年表、歴代校長や関係者の回顧、学級写真、行事スナップなどが紹介されています。

記念誌を希望の方は、鷹巣中学校事務室（電話二局一七〇二番）に申し込みください。一部一千五百円です。

また、記念誌を以前に申し込み、まだ届いておられない方も鷹巣中学校にご連絡ください。

婦人労働講座

県と秋田婦人少年室の共催で、「婦人労働講座」を十月二十三日、二十四日の二日間、飯田川町の八郎湯ハイツを会場に行います。

ご希望の方は、十月十八日まで秋田市山王四丁目一の一 秋田県労政課あて葉書で申し込みください。費用は受講料〓無料、宿泊料〓一泊二食四千円となっています。

学習活動が築きあげた

明るい郷土

『下舟木・吉ヶ沢・深沢』

おしよせる都市化の波に、人々の「ふるさと離れ」が懸念されているとき、学習活動をとおして、人々の心の結束をはかり、住みよい郷土づくりを進めている地域がある。下舟木（一五戸）吉ヶ沢（九戸）深沢（八戸）の三部落連絡協議会がそれである。

カゲの沢



若妻バレーチーム

七日市の奥部の人々はこの三つの部落を「カゲの沢」と呼んでいた。峠の向うの陰にあるということだが、交通不便で文化の光に浴しない地という意味が含まれていたような気がする。

農休日

炭焼きと農作業を主とするこの部落の人々が毎月、一日と十五日を「農休日」と定めたのは昭和二十五年のことであった。

「この日は必ず休んで疲労回復と、町へ出て用事をたすように」と呼びかけたが、かくれて仕事をすると罰金三千円に酒一升を出すことを決めた。この農休日は今でもよく守られている。

公民館・学習活動

そのうちに、農休日を利用しての公民館・婦人学級が開設された。下舟木部落会館で映画を見て座談会を開いた。健康と料理の講習をした。炭焼きは夫婦が力を合わせないとよいものがないから、

と秋田市への移動研修には全戸夫婦揃って参加した。今から五年前の九月の初旬で「農事試験場まつり」を見た。作物の成長と土壌、肥料との関係が、実物標本として展示され、図表によって説明されていることに感動し、学習の必要をつよく感じた。

三部落協議会の誕生

学習活動を深めるためには組織をつくる必要があるということと三部落協議会を結成した。会費は一戸三千円、毎年四月十五日に定例総会を開き、事業計画と予算配分を決めた。

活動費ができたことで各層の動きが一段と活気づいた。特に若妻たちのバレーチームは全町の優勝候補と対等の試合をした。そのかげには応援に駆けつけた夫達の声援が大きな支えになっていた。

燃えあがる青年の意気

男たちの朝野球も更に勇気づけられ、練習にはげんだ。

二十数名の青年たちは会を組織し、計画的な地域活動を始めた。盆踊りを復活させ、すもう大会を開き、カゲの沢は湧きたった。

公民館七日市分館長佐藤福治氏は、「昔は満州国といわれたこの地区が、今では何をやっても建設的で、七日市分館の模範です」と感慨深げに語る。

緑の山と、清らかな川の流れと人の和に恵れた「わがふるさと」の価値を、若者たちは認め、誇りをもって築きあげようとしているように見える。

部落訪問



＝ 深 関 ＝

国道七号線、坊沢と綴子の間に今、新しい住宅地が開けどんな家が建っている。この四月の調べで五十世帯であったものが、わずかに数カ月間に五十七世帯になっている。

この土地は、もともとは坊沢の村有地で、広い台地は堆肥用の草刈場であった。国道の向いの村有林であったので「山めぐり」（巡視人）の小屋が二軒建てていた。戦時中は戦用機の燃料となる松根油採取工場（現永井フユさん宅）が建った。

戦後の昭和二十二年、開拓地となり十三名が入植した。当時の一人、津谷清助さんからいろいろと話を聞いた。宅地一反歩耕地四反歩、山林七反歩貰ったが、大小豆しかできないので、みんな日雇い労賃で暮してきたという。

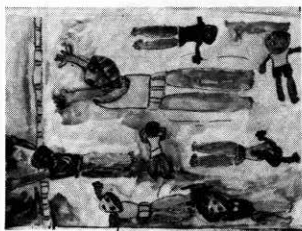
国道は、昔の「羽州街道」で人馬の往来が絶えなかった。坊沢相善の町はずれには一里塚のケヤキの大木があった。宝暦九年（一七六〇年）の街道普請分担図面に「此所山崩れ道悪敷」とあり、深関は難所であったこ



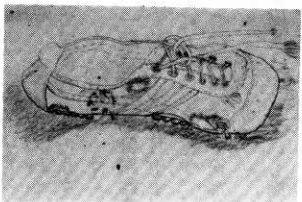
（公民館長 長崎 久）

とが想像される。（坊沢郷土誌）やがてバイパスができ、車の交通量が激増するにおよんで、ドライブイン、食堂、工場が次々と建った。南側の原野は住宅分譲地として区画分譲された。だが、困ったのは飲料水である。どこを掘っても水が出ない。昔からあった山めぐりの井戸を共同で使った。そのうちに町の上水道が引かれて事情は一挙に好転した。

昭和四十九年、昔からある十和神社の近くに児童館が建ち桜の木が植えられ、今ではその数が百四十本になっている。町内会長木村茂さんは「大へんまとまりがよく、刈払いなどよく出てくれます」と語っていた。南面するゆるやかな傾斜地に広い道路があり、点々と家が建っている。若い母親グループが子どもといっしょにつくった親子花だんの写真をとって歩いた。



1年 照内千尋



5年 成田周英



五年 村上能之

よつばの作品

ように思われそうですが、とにかくグループで、毎月二回、五年間続けてきました。会場がグループ員宅を代り番制にしまわってあるので、会場になった家の奥さんは勿論、家族ぐるみの協力が必要であります。



三吉町 渡辺 隆吉(47)

習字を習って

感じたこと

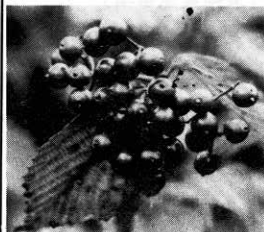
夜七時から九時までの二時間の練習が終った後の簡単なこん親会が、また実に楽しいものです。練習よりも、この方が楽しくて集まっていると云った方があたっていてもいいかもしれません。仕事の疲れを忘れ、よくしゃべるグループです。こうしたグループ活動をしていると、いつのまにか助け合いの気持ち、心の底に流れるようになり、仲間を大事にすることは自分でも大事にすることができるようになりました。町内会活動にがんばることも自分につなげていくことの楽しさを、あらためて考えさせられるようになりました。

先日公民館で開かれた「学習交

東小学校

流会」に、誘われるままに初めて参加しました。みんなが、生き生きとした何か底しれぬ新しい世界が開けてきそうで、素晴らしい感動を覚えました。学歴とか云うことになると私は無縁の者ですが、こうして人間は色々人の生き方を知ってゆくものだ、つくづく思うようになりました。私の仕事は本工ですが、本工にお客様に喜ばれるような家を建ててやりたい、そしてそれが又、本当に喜ばれた時、私はこの上なく仕事の大事さと大きな幸せを感じます。仕事にはまじめさと研究の心を、地域では思いやりの心を大切にしようという心にかけているこの頃です。

みんなの広場



みやまがまずみ

ジョミ。秋の赤い実の代表。大人には、あの酸っぱさが忘れられない。

(南小・阿部達雄先生)



鷹巣小学校3年 佐藤美枝

私のおとうさん

私のおとうさんは、おかしのあ

る会社につとめています。じむをやっています。

おとうさんは、おこるところもあけど、とてもやさしいところもあります。日曜日になると、ときどき中央公園に行きます。それは、おとうさんがさそうのです。バドミントンをやったりします。私は、そんなおとうさんがとて



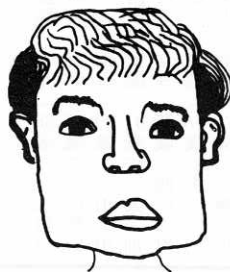
鷹巣吟修会

鷹巣吟修会は、昭和四十七年七月結成され、現在は会員数三十三名で、緻密に順調な活動を続けている。私達の詩吟の始りは、昭和四十五年十月頃で、公民館講座に詩吟がとりあげられた時からである。しかし、その当初の一、二年は受講者の出席が少なく、公民館の力添えで、かろうじて継続したものであった。昭和四十七年十一月、第一回の邦雅祭が企画され、全会員による詩吟発表の機会を得た。その結果、賛同する仲間も増え健全なグループに成長し、今は果



(紹介者 桜庭 正悦)

北連盟の中心的存在になっている。詩吟は、健康的で、自己の鍛練、ストレスの解消、会員相互の心のふれあいなど、楽しみながら活動できる良さがある。現在、毎月第二、第四土曜午後から公民館に於て、皆伝師範である小笠原吉郎さんをリーダーに、会員挙って漢詩を吟じ合い研修に励んでいる。また公民館定期講座の詩吟、初級者講座は、毎月第一、第三土曜午後二時から開講されており、私が担当で、受講生と共に学習に励んでいる。



もとても大好きです。

＝秋季清掃のお知らせ＝

10月22日から10月31日まで、秋季いっせい清掃を下記の日程で実施いたします。

住みよい生活環境保全のため、積極的なご協力をお願いします。

〔清掃重点事項〕

- ▷ 各自、家の内外を清掃する。
- ▷ 各自の畜舎、鶏舎、堆肥場、汚水溜、汚水施設の清掃整備並びに薬剤撒布をして環境整備をする。
- ▷ 各地域の会館、児童館、遊園地の清掃、除草を実施する。
- ▷ 各地域の不法投棄箇所の整備を行う。
- ▷ 各地域の道路（側溝を含む）。河川等を愛護し、環境浄化に努める。

実施日	地区名	町内名・部落名
22日(日)	全町清掃日	全 町
23日(月)	鷹 巣	南鷹巣、舟見町、伊勢町、森館町、東横町、西横町、仲町、幸町、大町、学校通り、旭町
24日(火)	鷹 巣	新旭町、東旭町、西旭町、花園町、西仲通り、元新町、桜木町、三吉町、栄町、米代町
25日(水)	鷹 巣	東住吉町、西住吉町、北新町、太平町、松葉町、新松葉町、福住町、駅前、材木町、東仲通り、末広町
26日(木)	坊沢・七座	全 区 域
27日(金)	綴 子	全 区 域
28日(土)	栄	全 区 域
30日(月)	沢 口	全 区 域
31日(火)	七 日 市	全 区 域

成人健康相談は、二十五日です。

十月の健康相談

一線美術会会員 九島家二氏



おしらせ

時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

◇ 一歳六カ月児健康診査は、十九日

日五十二年二月生まれと三月生まれとなっています。

受付時間は、午後零時半から一時半まで。

※場所、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

予 防 接 種

生後二十四カ月から四十八カ月までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。

接種日は、鷹巣地区以外の方は十九日、鷹巣地区の方は二十日。受付時間は、午後一時から午後二時まで鷹巣公民館保健相談室で行います。なお、おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

善 意

▽イシヤマ鷹巣支店の方々から、チャリティーバザー収益金五九、三二〇円を

▽南鷹巣小畑明雄さんから謝礼金一、〇〇〇円を

▽西仲通り戸島信男さんから講師謝礼金五、〇〇〇円を

それぞれ社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽芳志に深く感謝いたします。

▽新屋敷町佐々木一志さんから

香 典 返 し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

▽新屋敷町佐々木一志さんから



9月16日～9月30日

誕生おめでとうございます

古家 恵子(賢一 長女)昭和
田村 勇士(茂美 長男)岩
智田 将紀(宜典 長男)あけぼの

亡父源蔵さんの香典返し
二〇、〇〇〇円
▽あけぼの町渡辺美佐見さんから亡姉キクエさんの香典返し
二〇、〇〇〇円
▽伊勢谷河田信雄さんから亡父重太さんの香典返し
三〇、〇〇〇円
▽田中三沢堅三さんから亡二男正行さんの香典返し
二〇、〇〇〇円
▽七日市大畑山島勇さんから亡父岩太郎さんの香典返し
二〇、〇〇〇円

戸沢 和泉(慎 二女)前山
三上 智大(一清 長男)三ノ渡
佐藤 英春(光春 長男)旭町
佐藤 洋介(永彦 長男)東横町
小塚津子(政悦郎二女)堂ヶ谷
島山 隼人(強志 長男)藤株
千葉 竜太(義広 二男)旭町
伊藤由紀子(誠三 長女)新舟見町
高橋 満明(鉄雄 長男)綴子上町
島内麻妃子(道彦 長女)根本屋敷
佐藤 曜子(篤志 長女)東仲通

二人の前途を祝福いたします

九島 正治 岩 脇
福岡 春美 岩 脇
木村 純子 摩 当
高橋 貴弘 米内沢
小塚 由美子 堂ヶ谷
照内 正広 舟 場
小 林 忠子 向黒沢
桜 林 昭雄 蟹 沢
野 呂 珠子 街道町
島 山 多喜雄 大館市
斎 藤 章子 大館市
成 庭 喜裕 蟹 沢
桜 庭 アサ子 蟹 沢

おくやみ申しあげます

長崎 久光(35歳) 大野尻
河田 重太(29歳) 伊勢谷
三沢 正行(29歳) 田 中
島山 岩太郎(81歳) 大 畑
村上 友治(75歳) 西住吉町
岸上 直蔵(72歳) あけぼの
米沢 直蔵(72歳) 糠 沢